

経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 杉戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	82.42	99.93	2,754	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,883	30.03	1,527.91
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
45,664	30.03	1,520.61

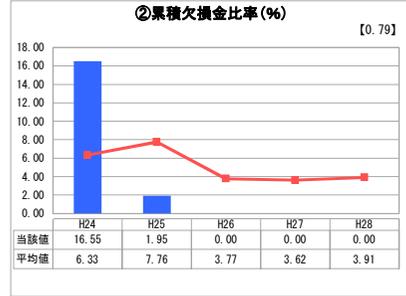
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

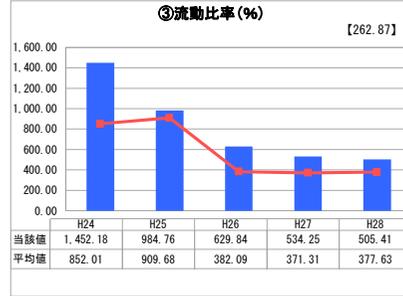
1. 経営の健全性・効率性



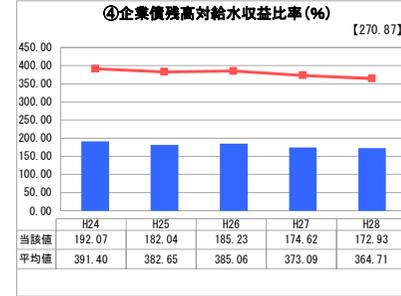
「経常損益」



「累積欠損」



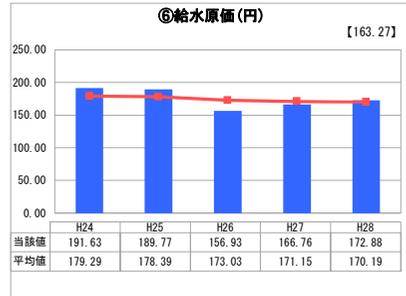
「支払能力」



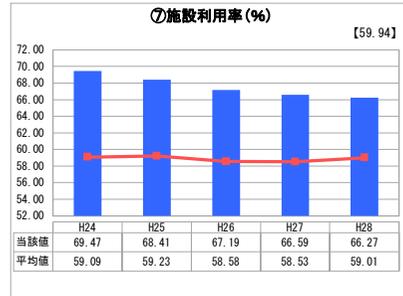
「債務残高」



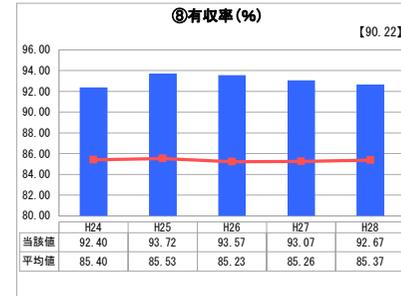
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

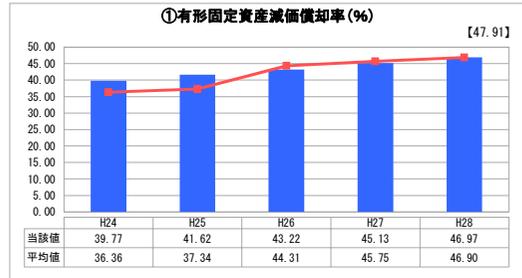


「施設の効率性」

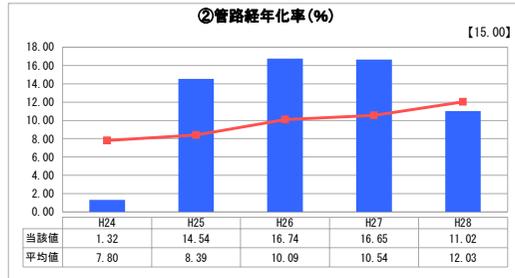


「供給した配水量の効率性」

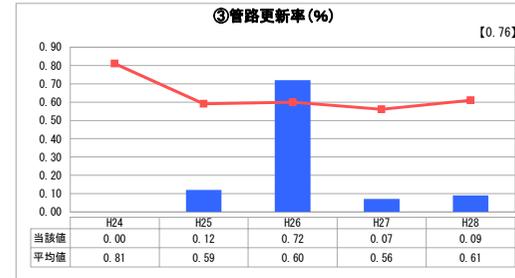
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支は赤字が続いていたが、H26年度から、会計制度の変更により黒字となっているが、有収水量の減少により類似団体平均値を下回っている。
- ②純損失については剰余金の取崩で対応をしているので、繰越欠損金は発生していない。H26年度からは純利益が生じており、累積欠損金は発生しなかった。
- ③流動比率については、平均値を上回っており、100%を上回っているため、短期的な債務に対する支払能力は十分である。
- ④企業債残高対給水収益比率は平均を下回っており、一定水準を保っている。
- ⑤料金回収率はH26年度を除き、100%を下回っている。料金収入では賸えず、他の収入に依存している。
- ⑥給水原価は経費の見直し等を行い、節減に努めている。
- ⑦施設利用率は平均を上回っており、充分な水準を有している。
- ⑧有収率は、平均を上回っており、充分な漏水対策の効果が表れている。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は平均をやや上回っており、施設や管路の老朽化が進んでいる。
- ②管路経年化率は平成25年度に再調査し、実績値を把握して、積極的に更新事業を実施したことで平均値を下回った。
- ③管路更新率は年度によりばらつきがあるが、着実に実施している。

全体総括

給水原価が供給単価を上回っており、また、平成9年度を最後に料金の見直しを実施していないことから、今後は、原価の上昇及び老朽管の更新に対して財源確保を勘案し、料金の見直しを検討する予定。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。